

平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業名	ごみゼロ作戦用放射能対策事業			会計	款	項目	大事	小事	
				01	04	01	04	06	58
政策	02	2節	生活の豊かさを実感できる流山（生活環境の整備）	主管課	環境政策課				
施策	2-1	豊かで美しい生活環境の創造		主管課長	大島 尚文				

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	落葉、草	意図	生活環境の保全。
事業内容	落葉・草は、クリーンセンターで焼却処分していたが、焼却灰から高濃度の放射性物質が検出されたことから、森のまちエコセンターで仮置きしている。春と秋で実施するごみゼロ運動で発生した落葉・草について、森のまちエコセンターまで収集・運搬を委託する。			
事業開始から現在までの状況変化	本市焼却施設の溶融飛灰に含まれる高濃度の放射性物質を抑制するとともに、空間放射線量の高い場所での清掃作業における注意事項への市民の理解が深まった。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）	
	①	剪定枝・落葉・草の回収量	49.46	49.93	44.21	トン		実績報告書から
②								
③								
④								
⑤								
⑥								
指標で表すことができない定性的な成果							目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） ・クリーンセンターの焼却灰の放射線量を低減化している。 ・分別の徹底を図るため、周知を図っている。	
事務事業のコスト		平成28年度	平成29年度	平成30年度				
事務事業の総コスト(a=b+c)		3,514,120	3,473,440	3,442,000				
事業費(b)(円)		1,591,920	1,594,080	1,596,240				
うち一般財源		1,591,920	1,594,080	1,596,240				
職員給与費(c)(円)		1,922,200	1,879,360	1,845,760				
人役・職員(人)		0.28	0.28	0.28				
人役・再任用(人)								
人役・臨職(人)								
人役・嘱託(人)								
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）								
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）								

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	C 必要性は低下すると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	C 削減の余地が大きい
総合評価	III 要改善（事業は継続するが、更なる改善が必要）					

(2) 事務事業の業務改善について

①H30当初の改善計画(Plan)	事務改善による経費の削減。	③取組における課題(Check)	収集委託料の削減（契約方法の見直しの検討）
②H30に実施した取組(Do)	委託業者へ当日回収を行うパッカー車及び平ボディの台数を削減するよう指導した。	④課題に対する今後(H31～)の改善計画(Action)	平成31年4月1日より、剪定枝や落葉や草はクリーンセンターにて焼却処分が可能になったため、当該事業は廃止となった。